

3.11 東日本大震災「宮城レスキューサポートバイクネットワーク」災害救援活動の記録

2012/2/1作成

2011年

月日	曜日	活動内容	活動場所①	活動場所②	コメント
3月11日	(金)	2011(平成23)年3月11日14時46分頃 M9.0の地震発生地震による大津波発生			<ul style="list-style-type: none"> ・ライフラインの多くが停止。 ・交通機関も麻痺、徒歩帰宅。 ・余震が頻繁で、自宅内も危険な状態。 ・多くの人は車で夜を明かした。 ・津波の情報は携帯や車のTVで知る。 ・バイクは季節的に乗らない時期。ほとんどの隊員は通勤にも使っていない。 ・バイクが地震で倒れたり、津波で流された隊員も居た。 ・SMS・携帯メール着信が稀にあるが、職場との連絡優先で、電池節約を余儀なくされる。 ・隊員の安否確認をメーリングリストで始める。
3月12日	(土)				<ul style="list-style-type: none"> ・余震が頻繁で自宅から動けず。 ・被害が比較的少ない住宅でも家財が散乱し、生活の場確保に追われる。 ・通信手段途絶。隊員間の連絡も途絶。 ・身内との連絡が優先。 ・予め決めていた非常時集合場所に行けた隊員同士も、時間帯が合わずにすれ違いで帰宅。 ・食料が不安。コンビニ・スーパーに列ができる。
3月13日	(日)	18:30仙台市災害対策本部へ事務局長が出向き、消防学校跡地(支援物資物流拠点)での活動開始を決定。			<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンスタンドが長蛇の列、夜間も並んだ車が放置され、車線が塞がれる状態となった。 ・携帯電話が復旧し始める。 ・市内の渋滞がひどいこともあり、市長からMRB代表へ出動要請あり。 ・市議会議員の山下さんより連絡あり、仙台市災害対策本部の情報を入手。 ・災害対策室長とも電話連絡できたが、即時の入室を要求される。 ・メーリングリストにて、隊員に対して災害救援活動開始を宣言。 ・個人的にはボランティアを始めた隊員も多数居たようだ。南三陸町の四輪で支援物資を運んだ隊員も居た。
3月14日	(月)	支援物資物流拠点にて、救援活動開始 <ul style="list-style-type: none"> ・全国より届く物資の下ろし作業 ・避難所への配送トラックへの積載作業 ・南三陸町への緊急物資輸送 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)	南三陸町	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員の家族も協力しての出動。 ・物資とともに職員(作業員)も送り込んでくれた自治体もあり、人海戦術での積み下ろし作業が始まる。 ・フォークリフトが無く、重労働。 ・カップ麺等はとてつもない量。飲料水・十数トンのバナナなどは重量があるうえ、配送を急ぐ必要もあり、大変な作業であった。 ・医師会の人間をバイク(タンデム)で搬送の依頼1件あり実施。 ・仙台市内で地図のバイク配送依頼があり、実施。 ・ワンボックス2台で、南三陸町に支援物資輸送。同時に孤立集落用にアマチュア無線機を届けたが、開局申請が必須と自治体関係者から指摘を受ける。 ・携帯電話は発信規制のため、南三陸町派遣組とは、出発以降は連絡がとれなかった。
3月15日	(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国より届く物資の下ろし作業 ・避難所への配送トラックへの積載作業 ・南三陸町への緊急物資輸送 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)	南三陸町	<ul style="list-style-type: none"> ・南三陸町への緊急物資輸送 ワンボックス1台2往復。 <p><この時点でのMRB体制> 仙台市災害対策本部→現地物資担当(仙台市職員)→MRB隊員→バイク派遣 ↓ 仙台市ボランティアセンター→事務局長携帯→バイク派遣</p>
3月16日	(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国より届く物資の下ろし作業 ・日本各地より届く物資の下ろし作業 ・避難所への配送トラック(自衛隊)への積載作業 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)		<ul style="list-style-type: none"> ・この日、仙台市若林区のボランティアセンターが立ち上がった。 ・バイクの出動支援は無し。(災害対策本部でバイク隊の活用は忘れられた模様) ・支援物資物流拠点に、自衛隊が派遣されてきた。避難所への配送も自衛隊が担う体制に移行した。
3月17日	(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所への配送トラック(自衛隊)への積載作業 ・支援物資仕分け作業 ・ガソリン調達作業 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)		<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊が物資の下ろし作業も担い始めたので、MRBは物資の仕分け作業に移行。 ・隊員活動用ガソリンが無いため買出しに走るが、スタンドのタンクも底をつき、パトカー等にしか売らない状況になった。 ・災害対策本部から紹介のガソリンスタンドでも売って貰えず、その場でガス欠になった隊員を救出。 ・ガソリン調達中に吹雪になり、夕方にはバイク走行は不可となった。
3月18日	(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所への配送トラック(自衛隊)への積載作業 ・支援物資仕分け作業 ・ガソリン調達作業 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)		<ul style="list-style-type: none"> ・「アレルギー支援ネットワーク」より「アレルギー用食料」を送ったが仕分けは大丈夫かの確認を依頼される。初期の段階では、一般の食料と混じた可能性が高い。 ・市の責任者へ伝えるときに確認を行って貰った。我々も仕分けを徹底する。 ・雪が積もったので、午後は早い時間に撤退。
3月19日	(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)		<ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン不足で出動できない隊員も多数。 ・ガソリン調達のため、隊員のバイク9台を特別に緊急車両扱いにして頂いた。 ・物資の仕分けが進み、MRBは自衛隊員に対し、物資の案内をするようになった。 ・昨夜は専門家がアレルギー対応品を仕分けしていた模様。「アレルギー支援ネットワーク」にその旨伝える。
3月20日	(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)		<ul style="list-style-type: none"> ・1箱に複数の物品が混在している物が多くなってきた。 ・「障害者支援団体」のポスター避難所掲示を依頼されたので、自衛隊にお願いした。 ・和歌山のMRB隊員が仙台到着。
3月21日	(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し ・震災廃棄牛乳の利活用支援 ・医療物資搬送 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)	石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・地震で流通ルートを失った酪農家から牛乳を貰い、配布活動実施。 ・避難所に送りすぎたカップ麺・ミルクの返還が出始めた。 ・下着の需要が増加。 ・隊員の知り合いや、大学生も仕分け活動に参加して頂き、戦力アップ。 ・障害者支援団体の事務所にガソリン30リットル配送寄付。 ・和歌山よりの隊員は、石巻で活動。
3月22日	(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し ・医療物資搬送 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)	石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトが、いつの間にか導入された。 ・作業用炊き出しが軌道に乗っている。最初は横浜市職員などが行っていたが、撤退後はMRBが担っている。自衛隊員は、冷たい缶詰を食べているらしい。 ・石巻では、バイクによる医療物資搬送も手伝う。(石巻赤十字病院) ・石巻方面への支援を増強したいが、余力なし。
3月23日	(水)	活動場所:仙台市宮城野区 支援物資物流拠点<作業> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し ・医療物資搬送 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)	石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊の活動が効率化し、市職員にも余裕が出てきた。
3月24日	(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し ・石巻の情報収集(バイク) 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)	石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局長が石巻のボランティアセンターと石巻赤十字病院の状況調査。 ・リソース不足で、ニーズに対応するバイク隊が編成できず。 ・石巻では長靴が緊急に必要。仙台市職員など作業員が残した長靴を支援物資として再利用のため、洗った。
3月25日	(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し ・「め組JAPAN」(石巻専修大学拠点)に支援物資輸送 	宮城県消防学校跡地(仙台市宮城野区)	石巻市	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料品のサイズ分けが必須となる。新品優先。中古衣料品の仕分けが負担となる。 ・石巻ボランティアセンターに灯油・下着・長靴・食料などをワンボックスで配送。 ・和歌山の隊員は、帰還。

月日	曜日	活動内容	活動場所①	活動場所②	コメント
3月26日	(土)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し ・ガソリン調達作業	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・ガソリンは緊急車両でも、10リットルしか買えない状況。
3月27日	(日)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し ・東松島市民体育館にて、支援物資仕分け作業 ・石巻ボランティアセンターへ食料提供	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)	石巻市 東松山市	・野辺地RBから、ガソリンを含む支援物資受領。 ・仙台市職員の努力により、物流拠点内の全体見取り図が提示され、物資の場所が把握しやすくなった。 ・東松山市民体育館は、物資を捌くマンパワーと車両が不足し、配送体制が追いついていなかった。 ・石巻社協のスタッフへ食料差し入れ。自分達の食料は後回し・・・で活動していた模様。 ・石巻RB隊員と情報交換。行方不明の隊員3名。身内を亡くしてもボランティア中。
3月28日	(月)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・数日前から、不足物資の把握もできるようになってきている。 ・野辺地RBから貰ったガソリンは、消防学校の協力で消防法令等をクリア。
3月29日	(火)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		
3月30日	(水)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・搬出・搬入ともに、物資の動きが減少してきた。
3月31日	(木)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・年度替わりのため、全員のボランティア保険更新。
4月1日	(金)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・「多言語支援センター」へ物資配送。
4月2日	(土)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・市職員に代わり、大量に支援してくれるユニクロからの物資数量確認後、新たな要望を纏める。
4月3日	(日)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・市担当者より、「倉庫の借用期限もあり、4月20日で現物流拠点閉鎖」との情報が示される。 ・隊員宅のガスが復旧し始めるが、この時点で、まだ風呂に入れていない隊員も多数。
4月4日	(月)	・避難所配送トラック(自衛隊)への物資案内作業 ・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		
4月5日	(火)	・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し ・雄勝地区へバイク隊派遣	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)	雄勝地区	・雄勝地区へバイク隊2名派遣。自衛隊が入っており、ニーズは少ない。 ・四輪が走れるようになって、バイクニーズが急激に無くなった模様。
4月6日	(水)	・物流拠点作業用炊き出し ・雄勝地区へバイク隊派遣	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)	雄勝地区	
4月7日	(木)	・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・ 4月7日 23時32分「震度6強の余震」発生 ・再び、屋内では家財が散乱して生活の場確保に追われる。(3.11の被害より大きかった隊員宅も多数)
4月8日	(金)	・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・7日時点で仙台市内避難所の避難者は、約2600名。昨夜の地震で、若干増えた模様。 ・鮎川方面へのボランティアを途中までバイクで先導。
4月9日	(土)	・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		
4月10日	(日)	・支援物資仕分け作業 ・物流拠点作業用炊き出し	宮城県消防学校跡地 (仙台市宮城野区)		・支援物資拠点が統合縮小。消防学校跡地(支援物資物流拠点)からMRB撤収。
4月19日 ~ 4月25日	(金) (月)	・被災地記録撮影	南相馬→宮古		・3月11日からほとんど写真を撮っていなかったため、隊員から「記録に残すべき」との提案あり。
4月24日	(日)	地震災害で取り壊しになる被災者宅より 家具類搬出→(支援物資に活用のため)	仙台市青葉区	七ヶ浜町	・家具類搬出(軽トラ2台分)→(支援物資に活用のため) ・七ヶ浜ボランティアセンターで泥かき出しなど。
4月30日	(土)	・避難所余剰物資調査 ・「みやぎ登米市災害ボランティアハブセンター」へ物資運搬	仙台市若林区	登米市	・仙台市若林区の避難所を巡り、余剰物資の調査を行った。 ・名取市の病院より設備更改で廃棄予定物品(TV・冷蔵庫・収納ラック)を津波被災者のため登米市に輸送。 (軽トラ1台+トラック1台分)
5月1日	(日)	・避難所余剰物資を別避難所へ輸送 ・「みやぎ登米市災害ボランティアハブセンター」へ物資運搬	仙台市若林区	登米市	・余剰物資(味噌・こんにやく・ねぎ・ごぼう・大根・オレンジ・梅干・きのこ)などを有効活用のため、別の避難所へ移送した。 ・名取市の病院より設備更改で廃棄予定物品(TV・冷蔵庫・収納ラック)を津波被災者のため登米市に輸送。 (2トン車2台分+軽トラ1台分)
5月3日	(火)	・避難所余剰物資輸送 ・「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」への派遣準備	仙台市若林区		・避難所でサイズの合わなかった靴が大量に余剰物資となっているので、軽トラック1台分回収。
5月4日	(水)	・「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」への派遣準備	仙台市若林区		・ボランティアセンターのスタッフとして働くための情報収集。
5月5日	(木)	・調整(マッチング) ・ボランティアセンター広報・ニーズ調査(バイク)	「仙台市南部津波災害 ボランティアセンター」 仙台市若林区	登米市	・3日に回収した靴を津波被災者に活用して頂くため登米市に輸送。 ・この日より、津波災害ボランティアセンターのスタッフ業務にも参加。 ・バイクにて、泥かき出しなどのニーズ調査。
5月6日	(金)	・ボランティアセンター広報・ニーズ調査(バイク)	「仙台市南部津波災害 ボランティアセンター」 仙台市若林区		

月日	曜日	活動内容	活動場所①	活動場所②	コメント
5月7日	(土)	・調整(マッチング) ・ボランティア状況調査(バイク)	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月8日	(日)	・調整(マッチング) ・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		・朝から参加できない隊員は、夕方に機材(スコップ・一輪車など)の片付けのみでも参加。
5月9日	(月)	・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月10日	(火)	・調整(マッチング) ・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月11日	(水)	・調整(マッチング) ・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月12日	(木)	・調整(マッチング) ・清掃ボランティア ・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月14日	(土)	・調整(マッチング) ・泥かき出しボランティア ・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月15日	(日)	・調整(マッチング) ・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月17日	(火)	・調整(マッチング)	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月19日	(木)	・ボランティアセンター看板取り付け	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		・3mX1.8mX2枚の大型看板取り付け。
5月20日	(金)	・調整(マッチング)	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月21日	(土)	・調整(マッチング) ・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月22日	(日)	・調整(マッチング) ・支援機材片付け等	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月23日	(月)	・調整(マッチング) ・駐車場の草むしり	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月25日	(水)	・調整(マッチング)	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月26日	(木)	・調整(マッチング)	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月27日	(金)	・調整(マッチング)	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		
5月30日	(月)	・調整(マッチング) ・車両2台陸送	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区	気仙沼市	・仙台市内は台風で冠水・大洪水。宮城県災害ボランティアセンターからの依頼で、気仙沼社協へワンボックス車2台を届ける。
5月31日	(火)	・調整(マッチング)	「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」 仙台市若林区		・「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」は5月31日で閉鎖。 「仙台市津波災害ボランティアセンター」(宮城野区)へ統合。
6月12日	(日)	・若林区 津波被害の泥撤去	「仙台市津波災害ボランティアセンター」 仙台市宮城野区	仙台市若林区	・津波被害を受けた畑に溜まった泥(砂)の撤去作業。
6月19日	(日)	・被災者宅 清掃	「仙台市津波災害ボランティアセンター」 仙台市宮城野区	仙台市若林区	・津波被害を受けたアルバム・衣装ケースなどの泥拭き取り作業。
6月25日	(土)	・一輪車のパンク修理・ベアリング交換	「仙台市津波災害ボランティアセンター」 仙台市宮城野区		
7月3日	(日)	・一輪車のパンク修理・ベアリング交換	「仙台市津波災害ボランティアセンター」 仙台市宮城野区		

・「仙台市津波災害ボランティアセンター」(宮城野区)が8月10日で閉鎖。

※その他、隊員が個人的に行った活動などは把握が困難ですので、掲載されておりません。